



2025.2.25

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

みんな頑張った遊戯会

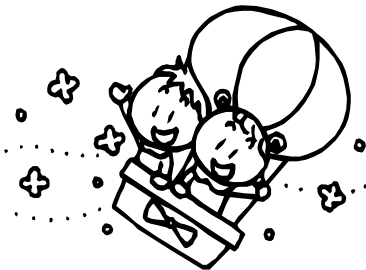
お礼が遅くなってしまいましたが、15日の遊戯会にはご家族の皆様でお出かけくださりましてありがとうございました。幼稚園から色々とお願いをしましたが、皆様のご協力により大変スムーズに進行することができました。心より感謝申し上げます。

お子さんの演技はいかがだったでしょうか。遊戯、歌、楽器・ピアノ演奏、劇と子どもたちは大活躍でした。最初はゼロからのスタートで、毎日毎日繰り返し、根気よく練習を続けていくことで完成に近づいていきます。クラスみんなで仕上げていくので、誰が抜けても困りますが、どうしても体調が悪い場合は仕方ありません。

年中・年長組の劇は、一人でセリフを言わなければならないので、もしもの場合は他のお子さんが代役をします。今回もありましたが、お気付きになられたでしょうか。全くその気配もなく進んでいきました。いざという時には、ちゃんと代役をこなして最後まで劇を進めることができるのです。それは子どもたちみんなが劇の流れがわかっていて、他の子のセリフも体の中に入っているからです。子どもたちの持っている能力にいつも驚かされます。

2・3歳児や年少組の子どもたちも、かわいい衣装で一生懸命踊っていましたね。舞台上上がって平気なお子さんもみえますが、なかには恥ずかしがり屋さんもあります。普段の練習ではできているのに、本番はもじもじ、というお子さんもみえました。たくさんのお客様を前に、舞台の上で演技を披露するというのはかなりの勇気が必要です。そういう私もこう見えて、もう60年以上も昔ですが、幼稚園の発表会の時、ドキドキしていやだなあと思っていたのを、今でも覚えています。

もうすでにご家庭で、録画を何度もご覧になって、お子さんをいっぱい褒めてくださったと思います。結果はもちろんですが、練習でも頑張っていたことも褒めてあげてくださいね。それが必ず次の自信へとつながり、成長のステップを上げていくことになると思います。



人とつながる

年長組のお友だちは、卒園まであとわずか、もう1か月もありません。この幼稚園で過ごした思い出は、たくさん心に刻まれているのでしょうか。4月のめばえにいつも書きますが、「幼稚園は、家族を離れて初めて他人ばかりの中での集団生活を送る第1歩の場所」ということです。

最初の壁は「自分の思い通りに進まない」です。だからこそ、先生や友だちに自分のやりたいことを伝えようと、言葉や動作でコミュニケーションをとり、社会性を身につけていきます。そして幼稚園を卒園すると、小・中学校・高校・大学とさらに多くの人たちと関り、社会に出ると職場や地域とさらに増えていきます。色々な人がいて、自分の好きな人ばかり選べません。誰とも関りを持ちたくないという人もいますが、食べるものや着るもの、生活する上で必要なものは誰かが作ったもの。目にみえなくても私たちは誰かのお陰で生活しているのです。

だからこそ、この社会生活第1歩の幼稚園の時に、人とつながるコミュニケーション能力を身につけることが大切です。もちろん、中には人とのつながりが苦手なお子さんもあります。でも「自分は一人じゃない。必ず誰かが見ているよ。あなたは世の中で必要だよ。」という肯定感を持てる人になれば、困難にぶつかった時もあきらめずに乗り越えることができる、もしもの時は誰かに助けを求めることができると思います。今のクラスもあと少し、コミュニケーション力で楽しく過ごせるようにと願っています。

花の女子大生古希同窓会

私事です。先日大学の友だちと「古希同窓会」を開催しました。あれから何十年？お互いの変貌ぶりに誰かわからない人も……。人生山あり谷あり、懐かしい話に花が咲きました。参加者共通の思いは「残された人生、毎日笑顔で楽しく」でした。次回は「喜寿同窓会」で会おう、お互い元気でいようね、と涙で別れを惜しみました。

